

# Rotary 週報



第2660地区

The Rotary Club of OSAKA-WEST

## 大阪西ロータリークラブ

創立 昭和32年6月4日

事務局 大阪市北区梅田1丁目1番3号  
 大阪駅前第3ビル 30階(〒530-0001)  
 電話 06-6348-8436 ファックス 06-6347-4556  
 ホームページ <http://www.osaka-westrc.org>  
 メール [osaka-w@cronos.ocn.ne.jp](mailto:osaka-w@cronos.ocn.ne.jp)  
 例会日 毎週月曜日 12時30分  
 例会場 ヒルトン大阪  
 会場電話 06-6347-7111

会長 清水 美 溥  
 幹事 安部 吉 宏  
 会報委員長 田中 義 久

4つのテスト われわれがものごとを考え、言い、また為そうとする場合はこれに照合してから。  
 I 真実かどうか。II みんなに公平か。III 好意と友情を深めるか。IV みんなのためになるかどうか。

## 人類に奉仕するロータリー

ROTARY SERVING HUMANITY

ジョン・F・ジャーム

No 2333 2015年12月19日 第2795回例会

### 本日のお知らせ

- ◆ 会員・家族親睦会(忘年会)開催  
 日時 2016年12月19日(月)17:45 集合  
 18:00~20:05 会員・家族親睦会  
 場所 ユニバーサル スタジオ ジャパン内  
 STAGE 33



### Let's Have a Parade!™

- 17:45 Entrance Gate Open  
 ~ ウェルカム・グリーティング
- 18:05 例会
- 18:20 Universal Star Party 2016 スタート  
 開会の挨拶 清水 美溥会長

乾杯 鴻野眞太郎会員  
 秋山 圭市会員  
 大阪リバーサイドRRC 柿本 円会員

会食  
 19:25 メイン・ショー  
 20:00 閉会の挨拶 市川 雅邦会長エレクト

### 次例会のお知らせ

- ◆ R. S. 「手に手つないで」
- ◆ 卓話 「ロータリークラブ雑感」  
 秋山 圭市 君
- ◆ MSU第6回会合開催  
 例会前11:30より、ヒルトン大阪10階にて開催いたします。ユニットリーダーはご出席ください。
- ◆ 被選理事会開催  
 例会終了後、ヒルトン大阪10階において開催致しますので、次年度理事・役員の方はご出席ください。

## 前例会の報告

- ◆ 前例会 (12月12日) の来客者 **4名**
  - うち国内来客者 **3名**
  - 海外ゲスト **1名**
  
- ◆ 前例会 (12月12日) の出席状況
 

出席会員数 (内 13名免除会員)	57名
欠席会員	18名
出席規定適用免除会員	27名
会員総数	89名
出席率	76.00%
  
- ◆ 11月21日の例会の出席率 (MJを含む) **86.42%**
  
- ◆ ニコニコ箱 (12月12日分)
  - 昨日、娘が婚約しました。非常に複雑な心境で、本日卓話に臨みます。よろしく願います。
 

	相崎 秀樹 君
--	---------
  - 12月10日 横尾会員の会社のパーティー、ありがとうございました。
 

	松田 佳紀 君
--	---------
  - 連続欠席のお詫び。
 

	中村 一志 君
--	---------
  - ニコニコ協力。
 

	丹生 昭教 君
--	---------
  - ニコニコ協力。
 

	岡 豪敏 君
--	--------

## ニコニコ箱 (12月12日分)

## クラブ・ニュース

- ◆ 国連ロータリーデー  
 ~ ビジネスと社会貢献の接点をさぐる  
 マンハッタンのミッドタウンにある国連本部。そのビルの外には、片手に剣、もう片手に槌をもった力強い男性の彫刻がそびえ立っています。これは「持ちうる強みと手段を使ってより平和で公平な世界を築く」という、ロータリーと国連の共通目標を象徴しています。  
 11月12日(土)、国連とロータリーが毎年開催している「ロータリーデー」が、ここ国連本部で開かれました。今年のテーマは「責任あるビジネス、回復力ある社会」。このテーマは、職業の手段をより良い地域づくりに生かしているビジネスリーダーの世界的ネットワーク、ロータリーの役割を映し出しています。イベントでは、このテーマをめぐる分科会と講演が行われました。

冒頭の挨拶で、国際ロータリーのジョン F. ジャーム会長は、前述の彫刻に触れ、「戦いをやめて平和な世界をつくらうではありませんか」と呼びかけました。テーマである「責任あるビジネス」は、営利組織が社会的・経済的発展に貢献できるという哲学を表しています。「これこそ、国連と国際ロータリーが緊密に連携できる分野。地域社会が必要な手段を備え、この手段を広く活用できるよう、地域社会のエンパワメントを支援できます」と会長は述べました。

オスロを拠点とする Business for Peace Foundation (平和のためのビジネス財団) の創設者で、同財団の理事長を務めるパー・サクセガードさんが、ビジネスと社会の複雑な関係について講演し、この関係がもたらす緊張と機会について語りました。「企業の動機は営利だけ」という考え方がある一方で、商業的な成功と社会的進歩は緊密に絡み合っていると、サクセガードさんは述べます。

「市場を決めるのは、社会のニーズ。(中略) 私は仕事で多くの起業家に会いましたが、全員に共通点がありました。彼らは問題を見ると、“この問題は解決できる。しかも、もっと安価かつ効果的な方法で”、と考えます。これこそが、ビジネスにおけるイノベーションの原動力です。現在の問題、例えば、飢餓や非識字といった問題の解決に必要なのは、この原動力なのです」。2030年までに貧困をなくすという国連の「持続可能な開発目標」にも触れ、この目標の達成におけるビジネスの役割を強調しました。

このほかにも、国連事務次長で軍縮担当上級代表であるキム・ウォンスさんと、ユニセフのポリオ担当責任者であるレザ・フサーニさんが講演しました。

イベントでは、責任あるビジネスの表彰も行われ、国際ロータリーのジョン・ヒューコ事務総長がビジネスリーダー6人と企業パートナー2社を紹介しました。いずれも、雇用、メンタリング、教育、イノベーションといった分野で地域社会に貢献する包摂的ビジネスを推進しています。

(My Rotary より)

